

地域とつながる大学生サポーターの
成長を促すカリキュラムの実践と展開

筑波大学 人文社会系
入山 美保

本日の発表の流れ

キーワード

- 地域とつながる大学生サポーターの養成
- 互いの成長を促す

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践
2. 「外国人児童生徒支援実習 I」の実践
3. 今後の展開

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

「外国人児童生徒支援研究」 春学期(7, 8月5週間)・1単位
【到達目標】

- ① インターネットを活用した遠隔支援システムによる日本語支援に必要な基礎知識を習得することができる。
- ② 日本語支援サポーターの役割を理解し、①に必要な方法を身につける。

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

カリキュラムの大枠

地域とつながる大学生サポーターの養成

第1回	オリエンテーション
第2回	日本語支援サポーターの役割を考える①
第3回	日本語支援サポーターの役割を考える②
第4回	日本語支援サポーターの役割を考える③
第5回	やさしい日本語を意識した授業デザイン
第6回	実践に向けて①
第7回	実践に向けて②
第8回	実践に向けて③
第9回	授業デザイン発表会
第10回	全体の振り返りと総括

日本語支援サポーターの役割の理解

①小学校の取り出し支援ボランティア

②夜間中学の数学教員

③オンラインで日本語および教科支援を行う
NPO団体所属の講師

オンラインでの日本語支援に必要な
基礎知識と方法の習得

実演と振り返り

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

授業デザインシート

- ・支援する児童の背景
- ・日本語と教科学習 両方の学習目標
- ・オンラインでどうやって伝えるか

授業デザインシート

<授業の基本事項>

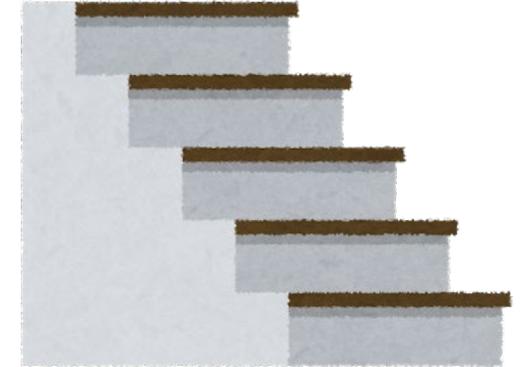
児童の状況	・名前 ソアレス ジュン 呼ぶとき _____ ジュン ・学年 4年 ・来日歴 2020年1月 ・ルーツ ブラジル ・母語 ポルトガル語 ・日本語の習得状況: 生活言語○ 学習言語× 漢字△ ・算数の学習の様子: 算数の時間は楽しそうにしている。 国で日本の2年生までの学習はしてきている。 ・オンライン授業経験: 無し
扱う単元と問題	単元名: _____ (小学校 _____ 年生)
学習目標	【日本語】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	【算数】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

<教える手順と方法> ※オンラインを想定して記入すること

確認する項目	先生の活動 (確認する内容と方法)	児童の活動	教具・使用ツール
問題文を解くために必要な知識の確認			
問題1			
問題2			
...			

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

課題の段階 互いの成長を促す仕組み



新たな課題の授業デザインシート作成（最終レポート） 個人

修正版授業デザインシートより一部模擬授業 → FB → 最終版提出

各課題に対する授業デザインシートを作成（暫定版） → FB → 修正版提出

〈たし算〉の模擬授業を見て、その内容を授業デザインシートに落とし込む
（全グループ同じ課題）

グループ

学年、専門
実習経験

1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

【文章題】各チーム3題

〈かけ算〉

1はこ5こ入りのキャラメルが7はこあります。キャラメルはいくつあるでしょう。

〈わり算〉

おり紙が40まいあります。1人に8まいずつ配ると、何人に分けられますか。

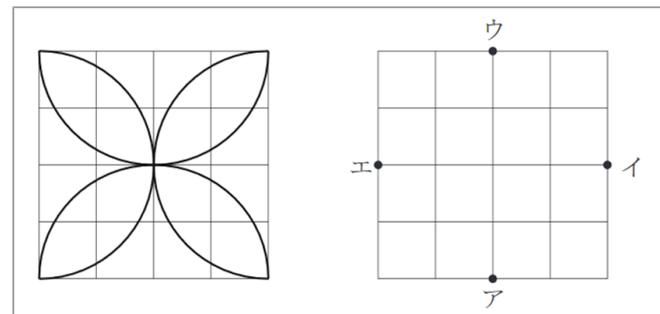
〈時間と時刻〉

ジェットコースターの列に10時25分からならんで、乗れたのは10時52分でした。

何分ならびましたか？

〈円と球〉

コンパスを使って同じもようを書きなさい。



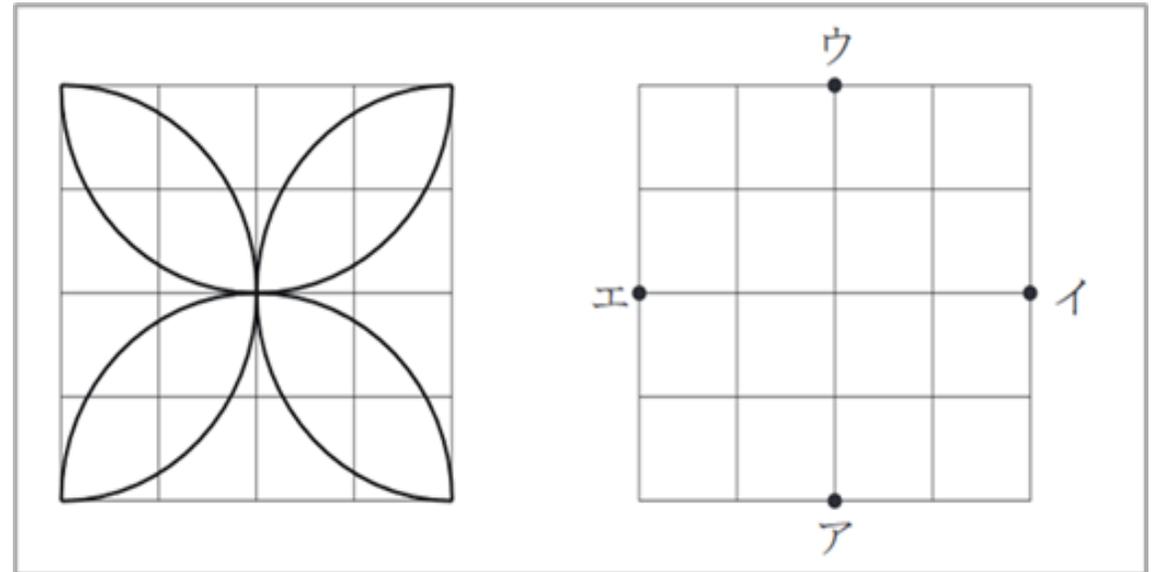
1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

授業デザインシート

「円と球」グループ

(1) コンパスを使って、次の円をかきなさい。
・半径が 2cm の円 ・直径が 3cm の円

(2) コンパスを使って同じもようを書きなさい。



1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

日本語学習・教科学習それぞれの学習目標

「円と球」グループ

学習目標	<p>【日本語】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 「半径」「直径」「円」「球」「コンパス」「中心」などの円と球に関連した語句の意味が理解できる<input type="checkbox"/> 「ぴったりと」「同じもよう」「れっ」「しまう」などの単語が理解できる<input type="checkbox"/> 文章題の意図が理解できる
	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンパスの使い方を知る、慣れる<input type="checkbox"/> 定規の目盛りが読める<input type="checkbox"/> 「半径」「直径」などの算数用語が理解できる<input type="checkbox"/> 「円」と「球」の定義を理解する<input type="checkbox"/> 「cm」の単位が理解できる

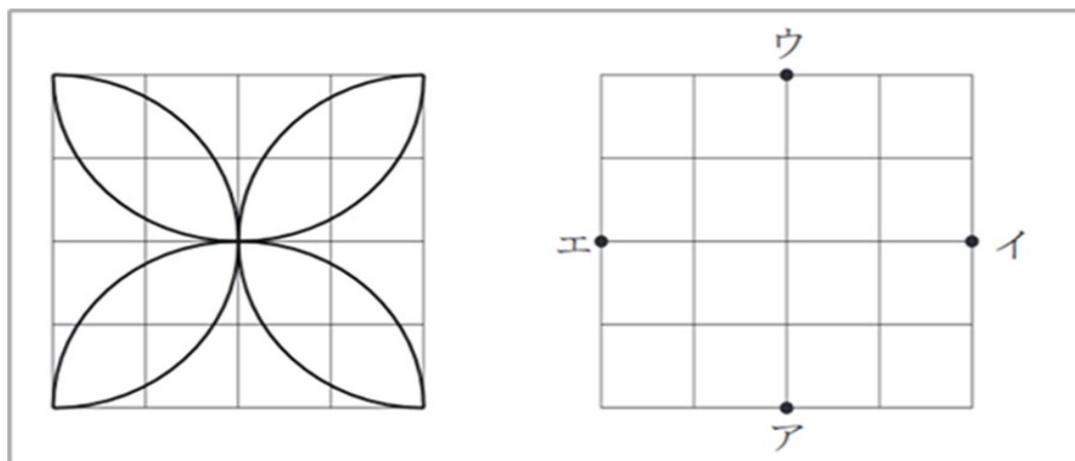
1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

オンラインでの算数授業デザインの実演

教具を作成

「円と球」

コンパスを使って下の図と同じ模様を書く



1. 「外国人児童生徒支援研究」の実践

「円と球」グループ 授業デザインシート

確認する項目	先生の活動 (確認する内容と方法)	児童の活動	教具・使用ツール
	<p>・ヒントを聞いても難しい場合は、ア・イ・ウ・エを中心とした半円を4つ描いて見せ、またその後模倣するように指示して同じタイミングで書いてみる。児童ができたから見せるように指示する。←</p> <p>←</p> <p>・最後にア・イ・ウ・エが何を示すかを聞き、それぞれの円の中心であると答えてもらう。分からなかった場合は円の用語について口頭で質問する等軽く復習をし、その後円の中心であることを教える。←</p> <p>←</p>	<p>・先生の説明を聞いて模倣する。出来たら先生に見せる。←</p> <p>←</p> <p>←</p> <p>←</p> <p>←</p> <p>←</p> <p>・質問に答える。「円の中心」と答える。分からない場合は、先生の説明を聞く。←</p>	<p>・画用紙で作った半円（見やすいように中をくり抜き、輪郭線だけの形にする。また、見やすいように<u>それぞれの半円に異なる色を付ける</u>）←</p> <p>・コンパス←</p> <p>・画用紙などをホワイトボードに張り付けたもの（→先生が説明するときを使う）←</p> <p>←</p> <p>←</p>

2. 「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」の実践

「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」 9~3月, 3単位

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

学生

大学教員

コーディネーター

学校教員

生徒

保護者

ガイダ
ンス

生徒
との
交流
会

DLA
実施

DLA
結果
報告
会

DLA
実施

DLA
結果
報告
会

全
体
報
告
会

日本語学習支援・教科学習支援

2. 「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」の実践

「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」 9~3月, 3単位

	月	火	水	木	金	土	日
支援 自己評価シート デイリーレポート	学生A	学生B	学生C	実際の支援時のデザインシート・PPTの共有			
ピア・サポート ピア評価	学生B	学生C 他チーム 学生D	学生A				
デザインシート		学生A	学生B	学生C	デザインシートの改善		
ミーティング				学生3名+教員			
支援動画		随時					
LINE		随時(支援内容の相談、デザインシートへのコメント等)					

2. 「外国人児童生徒支援実習 I」の実践

自己評価シート・ピア評価シート 互いに成長し合える仕組み

記入者名	支援日	支援担当者名	自己評価とピア評価のどちらですか。	1. 1.【支援デザインシート】支援のCan-doは、適切で、達成できた。	2. 【教材準備】教材はCan-doに適したものを扱っていた。	3. 【教材準備】板書や視聴覚教材(写真、文字カード、絵カード、パワーポイント等)の使用が効果的だった。	4. 【日本語支援の実践】学習者のレベルに合った指示や説明がわかりやすく行っていた。	5. 【日本語支援の実践】学習者に、発言する機会を十分に与えていた。	6. 【日本語支援の実践】学習者の様子を確認できていた。	7. 【日本語支援の実践】学習者が理解できないという反応を示した場合に適切な対応が行っていた。
	2020年10月2日		自己評価	少し改善が必要	良かった	良かった	もっと改善が必要	もっと改善が必要	少し改善が必要	良かった
	2020年10月5日		ピア評価	良かった	良かった	良かった	良かった	少し改善が必要	良かった	良かった
	20201005		自己評価	良かった	少し改善が必要	もっと改善が必要	もっと改善が必要	少し改善が必要	もっと改善が必要	少し改善が必要
	2020年10月5日		ピア評価	良かった	少し改善が必要	良かった	少し改善が必要	良かった	良かった	良かった
	2020年10月6日(火)		自己評価	少し改善が必要	少し改善が必要	少し改善が必要	もっと改善が必要	少し改善が必要	少し改善が必要	良かった
	2020年10月6日		ピア評価	良かった	良かった	良かった	少し改善が必要	良かった	良かった	良かった
	2020年10月12日		ピア評価	良かった	良かった	良かった	少し改善が必要	少し改善が必要	良かった	良かった
	2020年10月12日(月)		ピア評価	良かった	良かった	少し改善が必要	良かった	良かった	良かった	良かった
	2020年10月12日(月)		自己評価	良かった	少し改善が必要	少し改善が必要	少し改善が必要	少し改善が必要	もっと改善が必要	少し改善が必要
	2020年10月16日(金)		自己評価	良かった	少し改善が必要	良かった	もっと改善が必要	良かった	良かった	もっと改善が必要
	2020年10月20日		ピア評価	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	少し改善が必要
	2020年10月20日(火)		自己評価	良かった	少し改善が必要	少し改善が必要	少し改善が必要	良かった	良かった	良かった

2. 「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」の実践

「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」 9~3月, 3単位

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

学生

大学教員

コーディネーター

学校教員

生徒

保護者

ガイダ
ンス

生徒
との
交流
会

DLA
実施

DLA
結果
報告
会

DLA
実施

DLA
結果
報告
会

全
体
報
告
会

日本語学習支援・教科学習支援

<支援手順と方法> ※オンラインを想定して記入すること

時間	サポーターの活動 (確認する内容と方法)	生徒の活動	教具・使用ツール等
8:40 (1m)	【あいさつ】 「おはようございます。よろしくお 願いします。今日は何日だったか?」	あいさつする	なし
8:41 (1m)	【zoom、持ち物の確認】 「私の顔が見えますか? 声は聞こえ ていますか?」「学習の記録、数学 の教科書は持っていますか?」	Zoom 動作と持ち物を確 認する	なし
8:42 (2m)	【雑談】 「この 1 週間で何か楽しいことあり ましたか?」などちょっとした雑談 をはさむ	雑談を楽しむ	なし
8:44 (2m)	【Can-do の確認】 「今回の Can-do は、“1 次方程式の 文章題が解けるようになる”です」 ・前回書けなかった「1 次方程式」 が漢字で書けるか、助詞が抜けてい ないかチェック	サポーターが言った Can-do を聞き取り、そ れを学習の記録に書く	Can-do を書いた ppt (書き終わった後に提 示する)
8:46 (3m)	【①計算の基本を確認】 「同じ符号のときのかけ算、割り算 の答えは、正の数になります。異な る符号のときのかけ算、割り算の答 えは負の数になります。」 「1 次式の計算は、文字が入った項 と、数字だけの項、それぞれをまと めて計算します。」 「ここまででわからないところはあ りますか?」 ・前回の授業でつまづきが見られた	必要に応じて学習の記録 にメモする	ppt 教科書 p.37,43 を参考

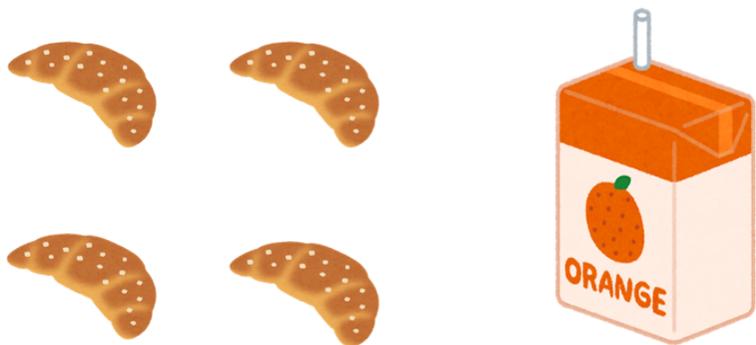
<支援手順と方法> ※オンラインを想定して記入すること

時間	サポーターの活動 (確認する内容と方法)	生徒の活動	教具・使用ツール等
8:40 (1m)	【挨拶】 「おはようございます。今日もよろ しくお願いします」	・挨拶する	
	【zoom、持ち物の確認】 「私の顔が見えますか? 声は聞こえ ていますか?」「学習の記録、数学 の教科書、コンパス、方眼用紙、定 規は持っていますか?」	・zoom の画面、持ち物 を確認する	
8:41 (8m)	【雑談】 「新型コロナウイルスに関するニュ ースを読んでみましょう」 ・生徒にニュースを読ませる ・「変異」「ワクチン」「陽性率」 言葉の意味を解説 ・陽性率の計算 「最後に、陽性率の計算をしてみま しょう」	・ニュースを2つ読む ・用語の意味を理解する ・陽性率の計算	・ニュース記事2つ ・3つの用語を解説する スライド (参考にした教材に URL を掲載しています) ・問題用スライド

問題1

1本a円のパンを4つと1本120円のジュースを買うときの合計の

代金を式で表しましょう。



パンの値段	パンの個数	パンの代金
100円	4つ	$100 \times 4 = 400$
200円	4つ	$200 \times 4 = 800$
300円	4つ	$300 \times 4 = 1200$
a円	4つ	$a \times 4 = 4a$

ニュースを読んでみよう①



アメリカの製薬会社モデルナは、イギリスと南アフリカで

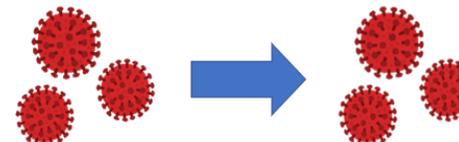
見つかった**変異**した新型コロナウイルスについても

ワクチンが、効果を示す結果が得られたと発表しました。

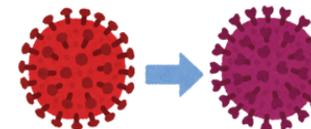
参考:<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/medicine/detail/vaccine.html?tab=2>

「変異」ってなに？

- 普通は、ウイルスが増えるときに、ウイルスの情報はコピーされる



- 「**変異**」とは、コピーされた内容が、もとの情報から変化すること



11月27日(金) 1時間目 〇〇〇〇 さん

担当者:

内容:

- ①計算の基本を確認
(乗法、除法の規則、文字式のルール)
- ②1次方程式の計算
- ③1次方程式の文章題を解くポイント
- ④1次方程式の文章題(1問)

- ①...前回つまづきが見られた箇所を中心に、計算のルールを確認
- ②...1次方程式を解き、どのように解いたのかサポーターに説明する
- ③...サポーターの説明を聞く
- ④...サポーターの出すヒントを参考にしつつ、文章題を解く

宿題:

なし

連絡事項:

今回もまじめに頑張ってくれたと思います。



20201127L.docx - 2020-11-27 09:54:18

1月29日(金) 1時間目 〇〇〇〇 さん

担当者:

内容:

Can-do: 垂直二等分線が作図できる

教科書p.161,164~166,178~181

- ①ニュースを読む
- ②陽性率(割合)の計算
- ③宿題の確認(反比例のグラフを見て式を求める)
- ④直線について考える(直線、線分、交点、平行、垂直、用語を確認)
- ⑤垂直二等分線の作図

宿題:

なし

連絡事項:

- ・割合の計算が苦手なようです。
- ・「得られた」が読めませんでした。
- ・学習用語に関しては、「線分」は読んでも意味がわかっておらず、「平行」は頭の中にインプットされていなかったようです。
- ・作図を指示したとき、最初は「わからない」と言っていたが、「思い出してみよう、間違ってもいいよ」などと声かけをしたら、自分で「どうだっけ、どうだっけ、たしかこんな感じ」などと言いながら作図に取り組んでいました。
- 前よりもわからない問題に対して、自分の力で解決しようとするようになった気がします。「わからない」と言われても、すぐに答えを出さず、自分の中でまず考えてみるように促すことが大切だと感じました。
- ・ふりかえりを学習の記録に書くとき、「～たり、～たり」の形を使おうとする姿勢が見られました。ただ、前の文章で「たり」を使うことができて、後ろの文章で「たり」を使わず、結局「～て、～て」の形に書き直していました。する→「したり」の活用があまり浮かんでくれないのかも知れないです。
- ・宿題忘れがあったので、今後、宿題を出す場合は、前回のサポーターに確認をとってもらうことが必要だと思いました。



20210129L.docx - 2021-01-29 17:21:21

2. 「外国人児童生徒支援実習Ⅰ」の実践

地域とつながり、互いに成長し合える仕組み

- 座談会 ⇒
 - T-ACT (つくばアクションプロジェクト),
DACセンター, 教職, 学類授業窓口での広報
 - 2週間に1回のローテーション (4年生も担当可能)
 - 支援外の時間での共有 (学校行事、給食への参加)
 - ピンチヒッターバンク
- 地域との連携

3. 今後の展開

- 支援している生徒の教員、保護者との連携強化
- 保護者への生徒の学習の様子を知らせるツール
- 他学類の学生への広報⇒自分の専門に合った教科支援
- プロジェクト・サポーターの養成
- 全国の学校現場で大学生サポーターが即戦力となって活躍
⇒人材不足解消
- 地域への働きかけ